

第1 犯罪の概況

1 刑法犯

(1) 発生(認知)状況

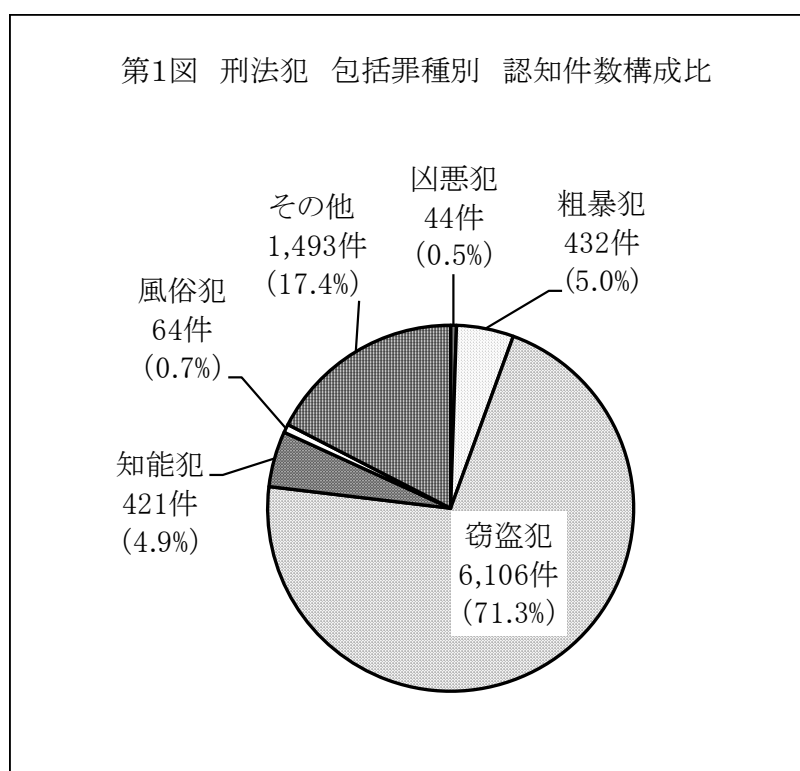
ア 概況

令和2年中の刑法犯認知件数は8,560件で、前年に比べ1,762件(17.1%)減少した。包括罪種別にみると第1表のとおり、粗暴犯、窃盗犯、知能犯、その他の刑法犯が減少した。

第1表 刑法犯認知件数増減比較

包 括 罪 種	令和2年		令和元年		増 減	
	件 数	構成比	件 数	構成比	件 数	率
総 数	8,560	100.0	10,322	100.0	-1,762	-17.1
凶 悪 犯	44	0.5	42	0.4	2	4.8
粗 暴 犯	432	5.0	474	4.6	-42	-8.9
窃 盗 犯	6,106	71.3	7,545	73.1	-1,439	-19.1
知 能 犯	421	4.9	507	4.9	-86	-17.0
風 俗 犯	64	0.7	58	0.6	6	10.3
そ の 他	1,493	17.4	1,696	16.4	-203	-12.0

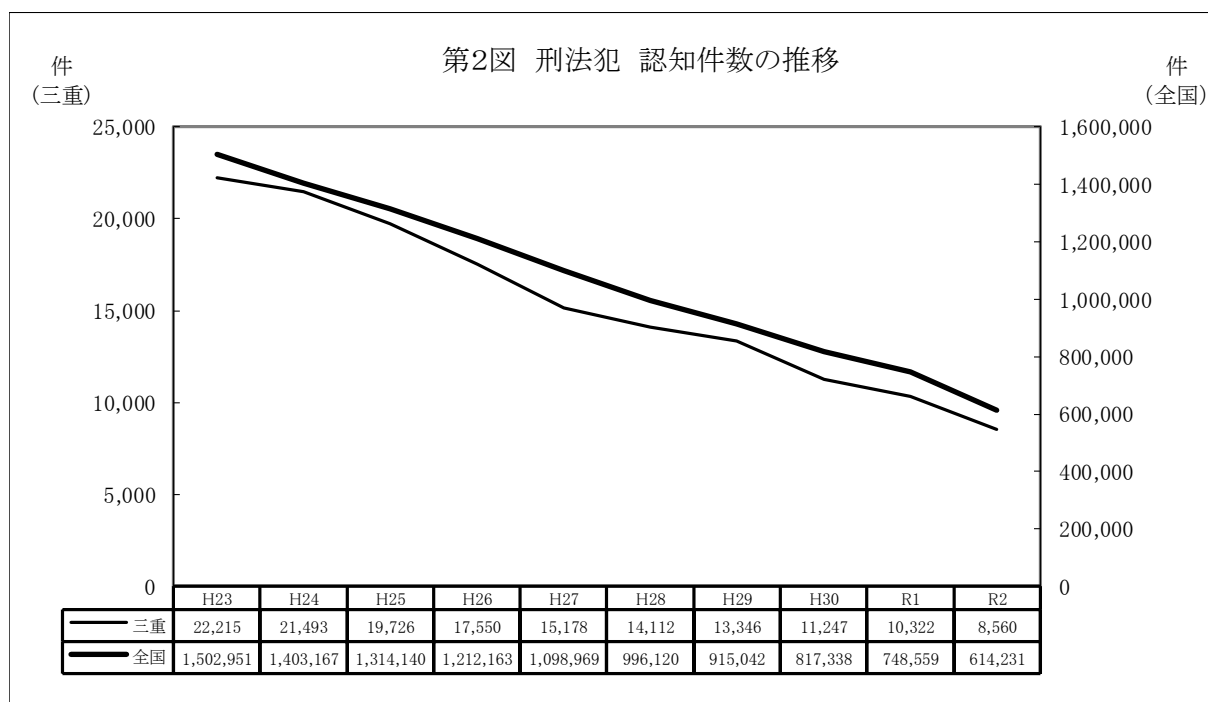
(ア) 刑法犯認知件数の包括罪種別構成比をみると、第1図のとおり、窃盗犯が約7割を占めている。



(イ) 都道府県別にみた刑法犯認知件数の全国順位は第19位(前年第19位)で、全国刑法犯認知件数614,231件の約1.4%を占めている。

また、犯罪率(人口10万人当たりの認知件数・令和2年10月1日現在の推計人口を用いて算出。)は483.2で、全国47都道府県中、11番目に高率であった。

(ウ) 刑法犯認知件数の10年間の推移をみると、第2図のとおりで、平成23年以降、全国、三重ともに年々減少している。



イ 罪種別にみた発生(認知)状況

(ア) 重要犯罪

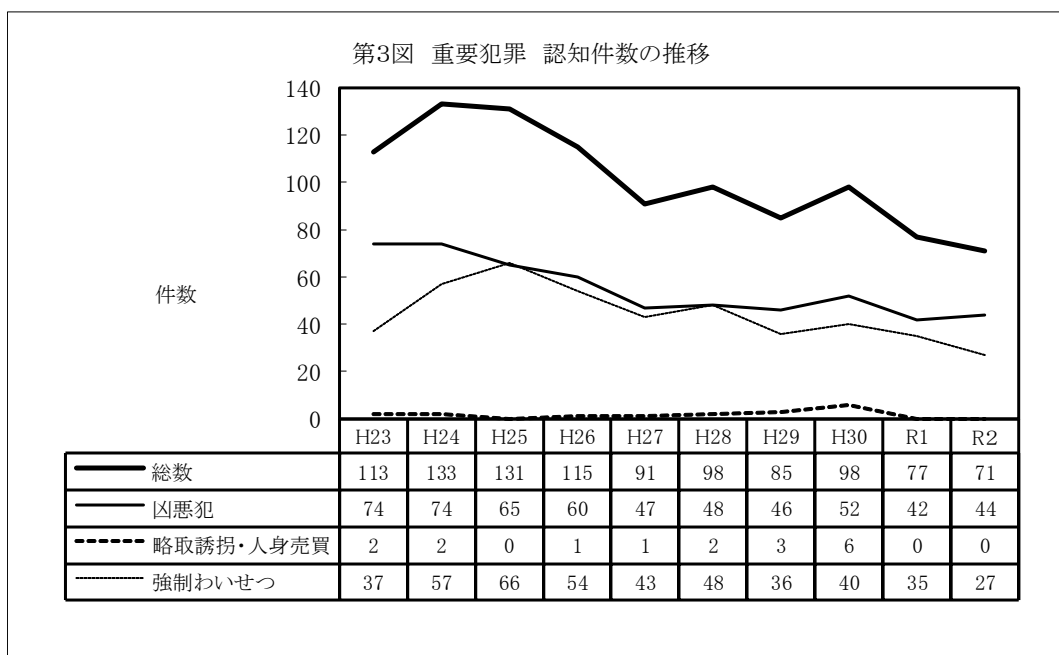
令和2年中の重要犯罪の認知件数は第2表のとおり71件で、前年に比べ、6件(7.8%)減少した。

罪種別にみると、強盗、強制わいせつが減少した。

第2表 重要犯罪認知件数増減比較

区 分	令和2年	令和元年	増 減	
			件 数	率
総 数	71	77	-6	-7.8
殺 人	12	6	6	100.0
強 盗	10	16	-6	-37.5
放 火	7	6	1	16.7
強 制 性 交 等	15	14	1	7.1
略取誘拐・人身売買	-	-	±0	±0.0
強 制 わ い せ つ	27	35	-8	-22.9

過去10年間の認知件数の推移をみると第3図のとおりで、平成24年以降減少傾向を示しており、平成27年以降は100件を下回っている。



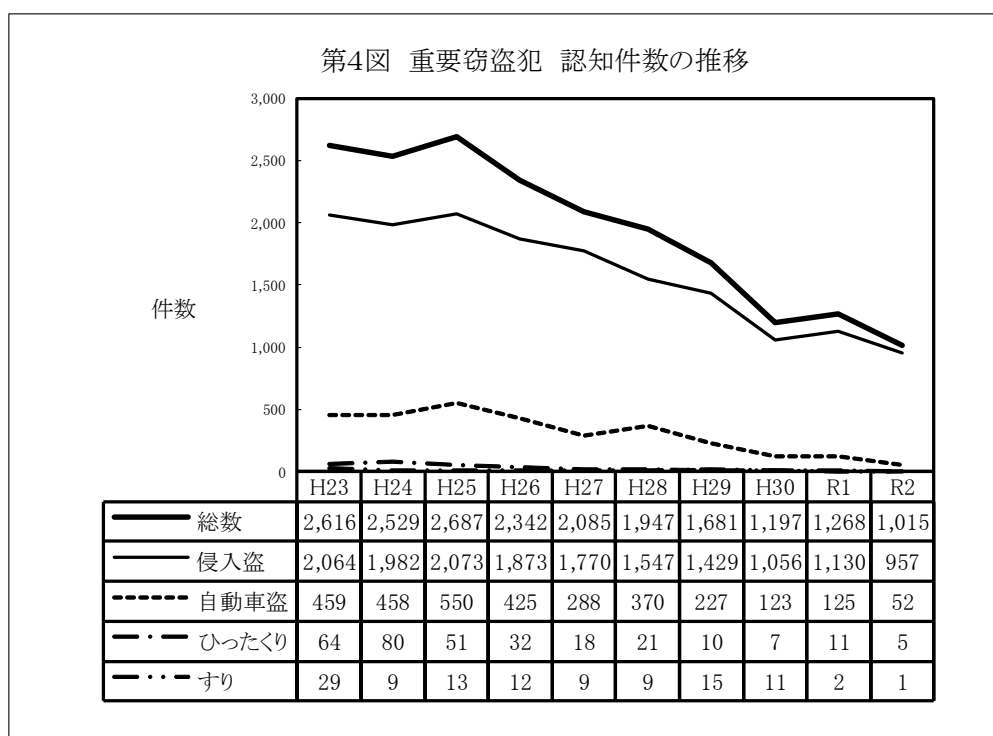
(イ) 重要窃盗犯

令和2年中の重要窃盗犯の認知件数は、第3表のとおり1,015件で、前年に比べ、253件(20.0%)減少した。

第3表 重要窃盗犯認知件数増減比較

区 分	令和2年	令和元年	増 減	
			件 数	率
総 数	1,015	1,268	-253	-20.0
侵 入 盗	957	1,130	-173	-15.3
住 宅 対 象	456	516	-60	-11.6
そ の 他	501	614	-113	-18.4
自 動 車 盗	52	125	-73	-58.4
ひ っ た く り	5	11	-6	-54.5
す り	1	2	-1	-50.0

過去10年間の認知件数の推移をみると第4図のとおりで、平成26年以降は減少傾向を示している。令和2年は過去10年で最低の件数となった。



(ウ) 凶悪犯

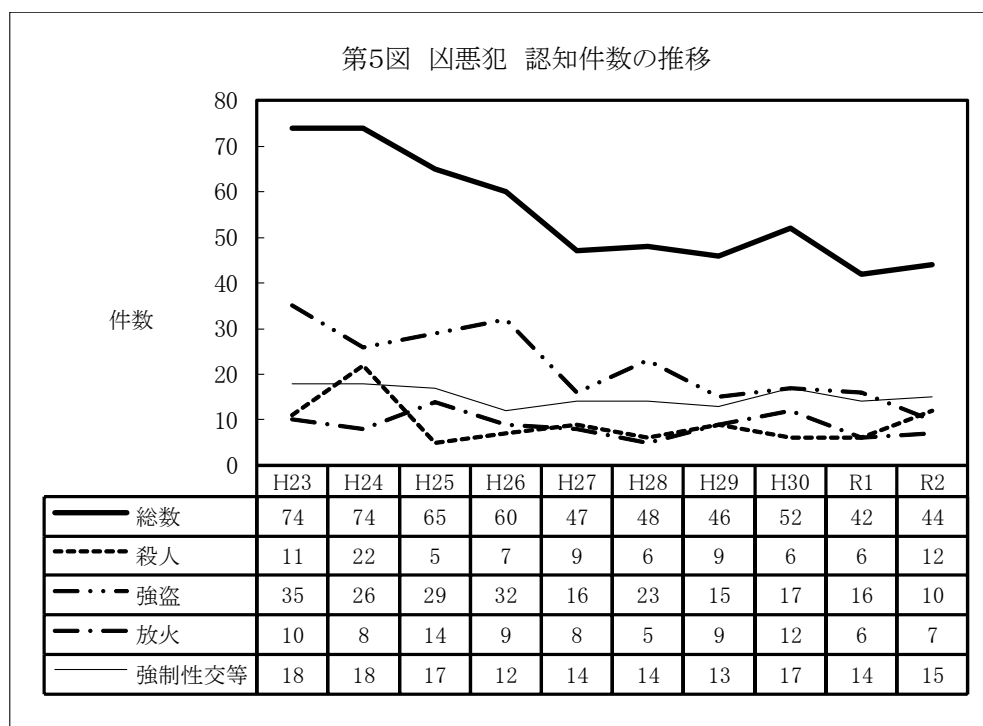
令和2年中の凶悪犯認知件数は、第4表のとおり44件であった。

罪種別にみると、強盗が減少した。

第4表 凶悪犯認知件数増減比較

罪 種	令和2年		令和元年		増 減	
	件 数	構 成 比	件 数	構 成 比	件 数	率
総 数	44	100.0	42	100.0	2	4.8
殺 人	12	27.3	6	14.3	6	100.0
強 盗	10	22.7	16	38.1	-6	-37.5
放 火	7	15.9	6	14.3	1	16.7
強 制 性 交 等	15	34.1	14	33.3	1	7.1

過去10年間の認知件数の推移をみると第5図のとおりである。平成23年以降、増加と減少を繰り返しているが、総数にあっては平成27年以降は50件前後を推移している。



(エ) 粗暴犯

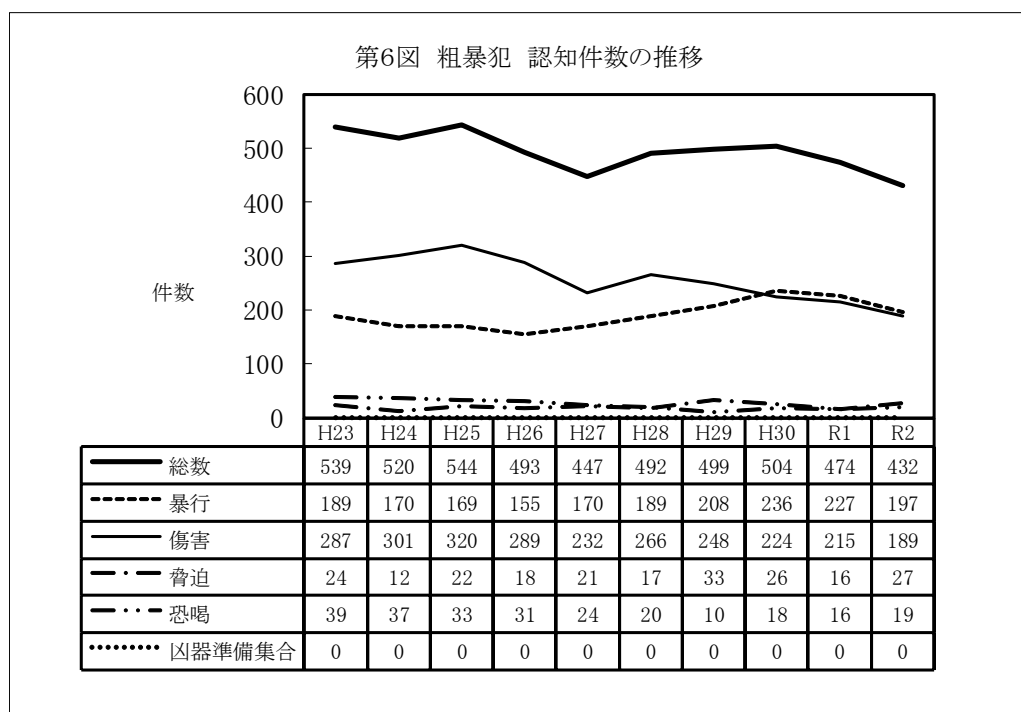
令和2年中の粗暴犯認知件数は、第5表のとおり432件で、前年に比べ42件(8.9%)減少した。

罪種別にみると、暴行、傷害が減少した。

第5表 粗暴犯認知件数増減比較

罪 種	令和2年		令和元年		増 減	
	件 数	構 成 比	件 数	構 成 比	件 数	率
総 数	432	100.0	474	100.0	-42	-8.9
凶器準備集合	—	—	—	—	—	—
暴 行	197	45.6	227	47.9	-30	-13.2
傷 害	189	43.8	215	45.4	-26	-12.1
脅 迫	27	6.3	16	3.4	11	68.8
恐 喝	19	4.4	16	3.4	3	18.8

過去10年間の認知件数の推移をみると第6図のとおりで、減少傾向にあった総数が平成28年以降増加するも、令和2年は過去10年で最低の件数となった。



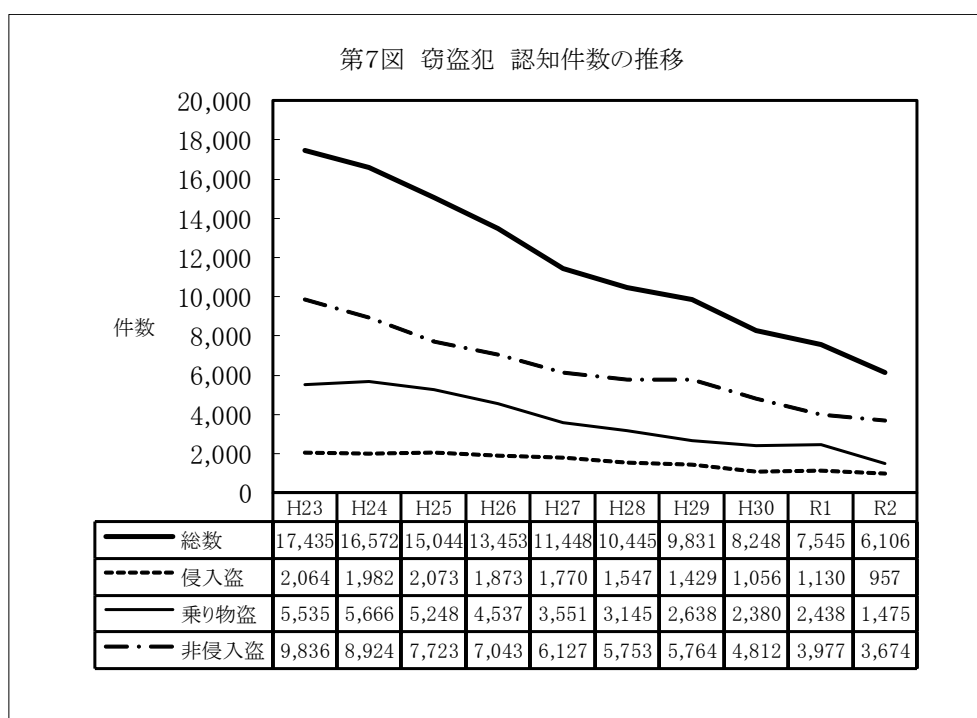
(オ) 窃盗犯

令和2年中の窃盗犯認知件数は、第6表のとおり6,106件で、前年に比べ1,439件(19.1%)減少した。

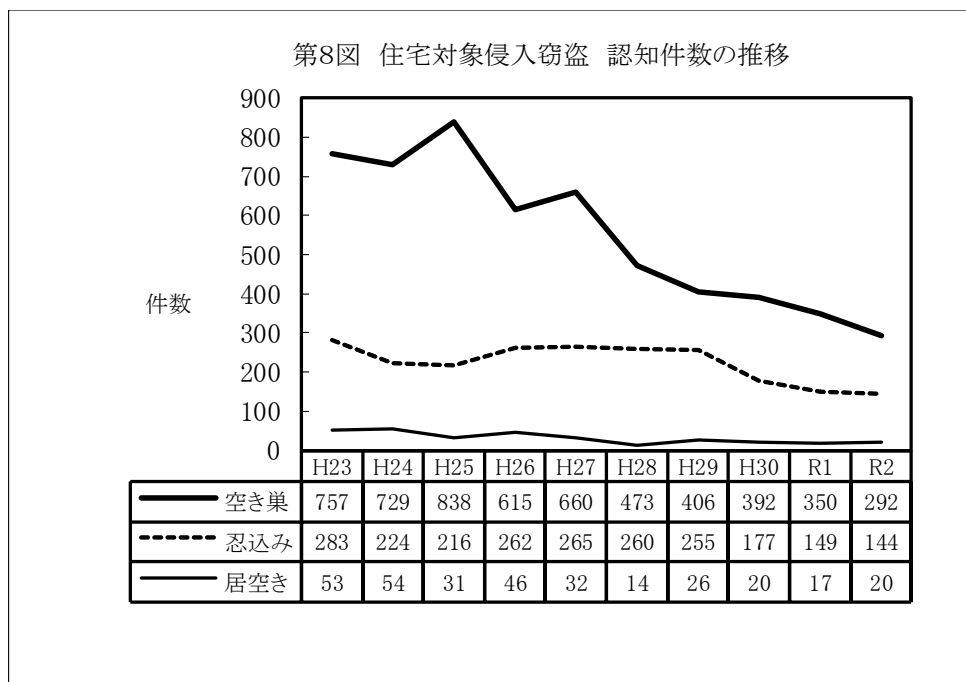
第6表 窃盗犯認知件数増減比較

手 口	令和2年		令和元年		増 減	
	件 数	構 成 比	件 数	構 成 比	件 数	率
総 数	6,106	100.0	7,545	100.0	-1,439	-19.1
侵 入 盗	957	15.7	1,130	15.0	-173	-15.3
乗 り 物 盗	1,475	24.2	2,438	32.3	-963	-39.5
非 侵 入 盗	3,674	60.2	3,977	52.7	-303	-7.6

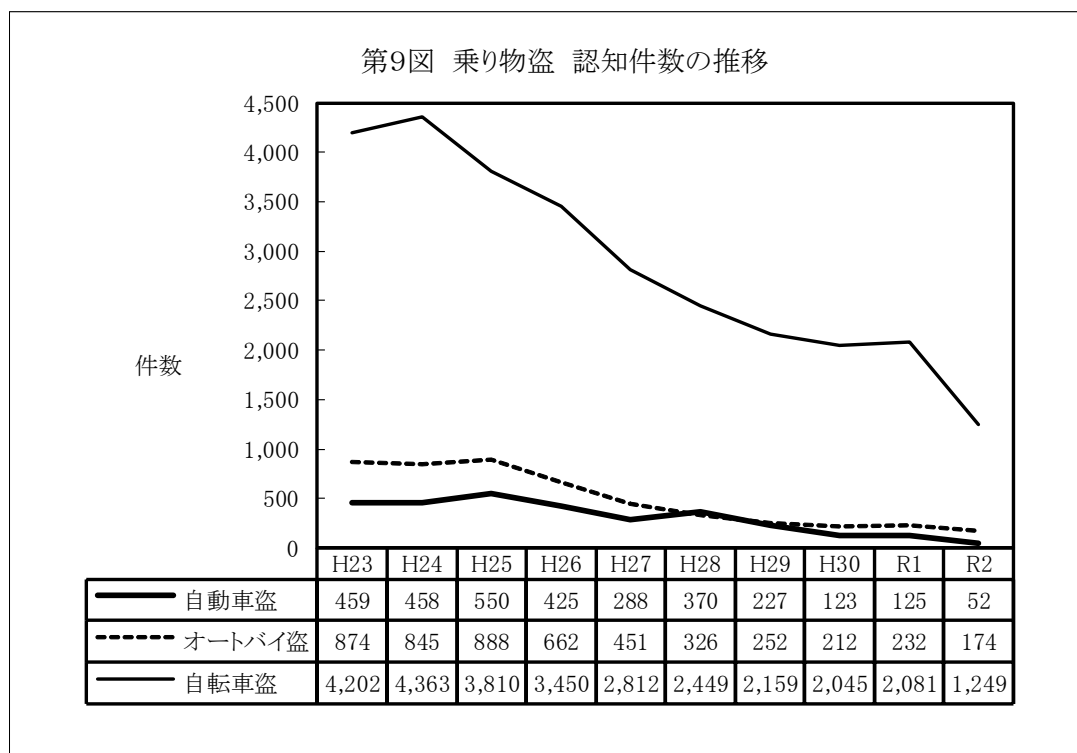
過去10年間の認知件数の推移をみると第7図のとおりである。令和2年は、総数、侵入盗、乗り物盗、非侵入盗が過去10年で最低の件数となった。



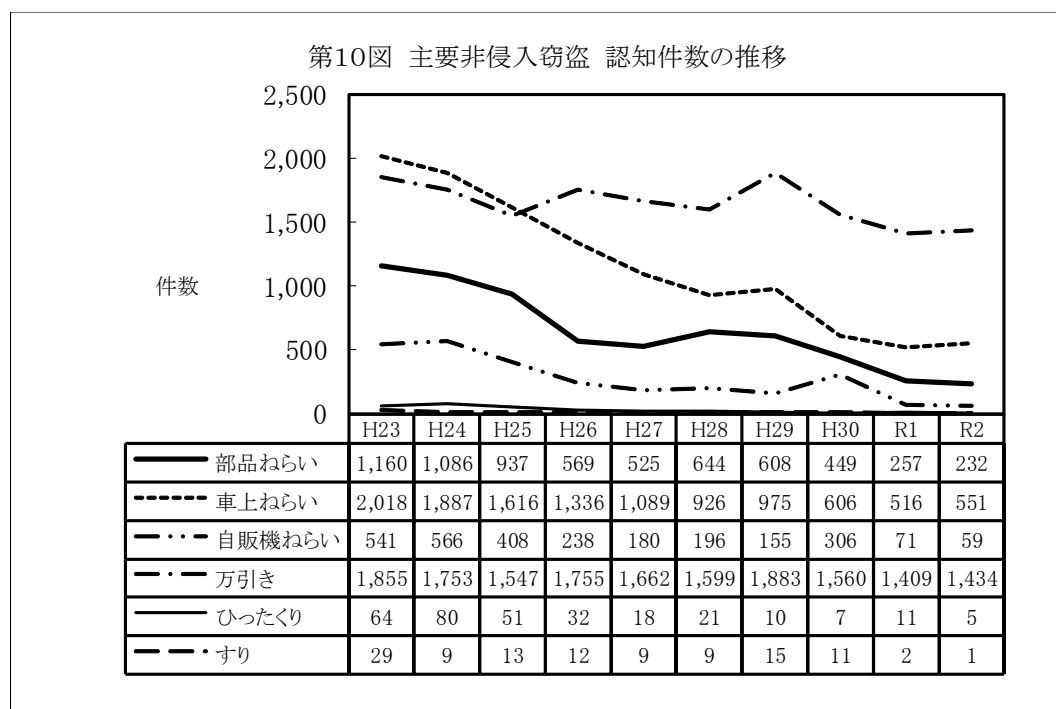
侵入盗の主な手口について過去10年間の認知件数の推移をみると第8図のとおりである。令和2年には空き巣、忍込みが過去10年で最低の件数となった。



乗り物盗について過去10年間の認知件数の推移をみると第9図のとおりである。自動車盗、オートバイ盗、自転車盗は過去10年で最低の件数となった。



非侵入盗の主な手口について過去10年間の認知件数の推移をみると、第10図のとおりである。部品ねらい、自販機ねらい、ひったくり、すりは過去10年で最低の件数となった。



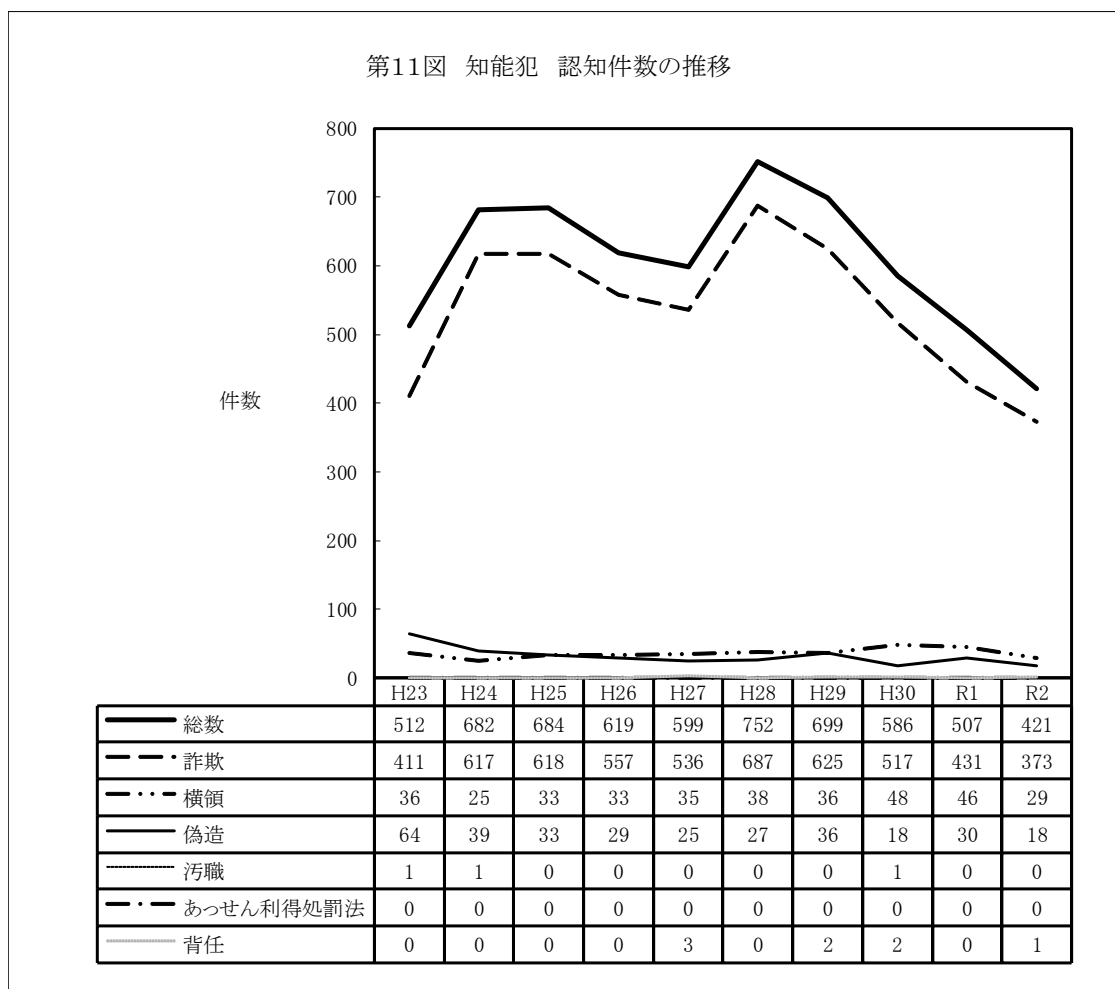
(カ) 知能犯

令和2年中の知能犯認知件数は、第7表のとおり421件で、前年に比べ86件(17.0%)減少した。罪種別にみると、背任が増加し、詐欺、横領、偽造が減少した。

第7表 知能犯認知件数増減比較

罪 種	令和2年		令和元年		増 減	
	件 数	構 成 比	件 数	構 成 比	件 数	率
総 数	421	100.0	507	100.0	-86	-17.0
詐 欺	373	88.6	431	85.0	-58	-13.5
横 領	29	6.9	46	9.1	-17	-37.0
偽 造	18	4.3	30	5.9	-12	-40.0
汚 職	—	—	—	—	—	—
あっせん利得処罰法	—	—	—	—	—	—
背 任	1	0.2	—	—	1	—

過去10年間の認知件数の推移をみると第11図のとおりである。平成23年以降、詐欺の認知件数は増加と減少を繰り返しているが、令和2年は過去10年で最低の件数となった。



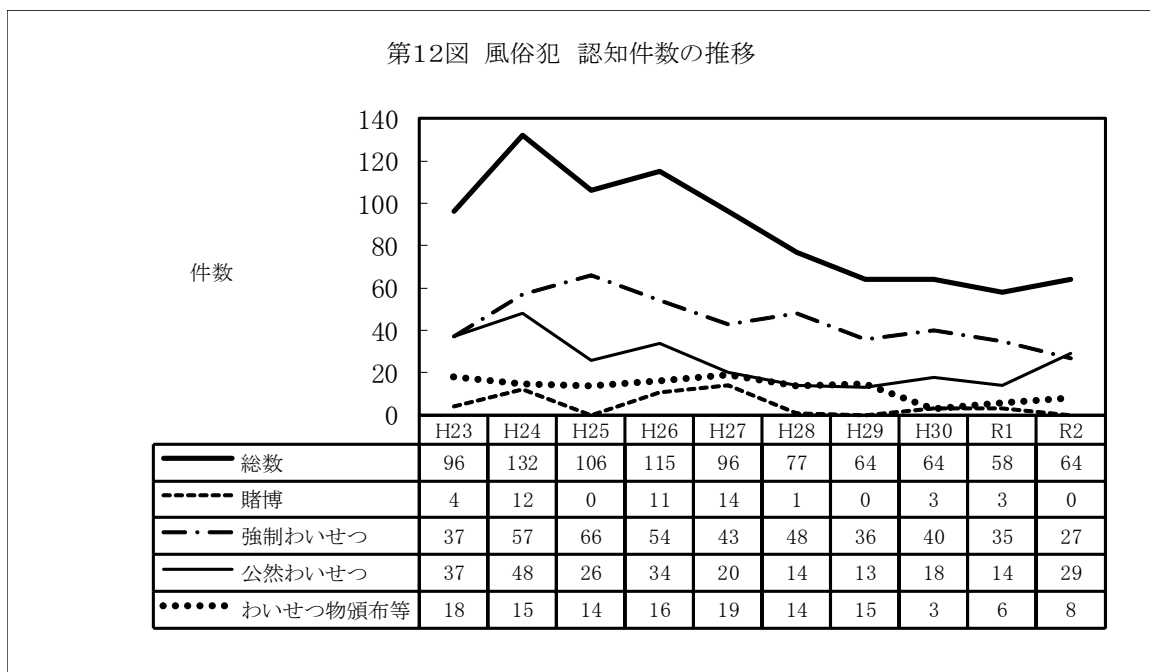
(キ) 風俗犯

令和2年中の風俗犯認知件数は、第8表のとおり64件で、前年に比べ6件(10.3%)増加した。

第8表 風俗犯認知件数増減比較

罪 種	令 和 2 年		令 和 元 年		増 減	
		構 成 比		構 成 比	件 数	率
総 数	64	100.0	58	100.0	6	10.3
賭 博	—	—	3	5.2	-3	-100.0
強制わいせつ	27	42.2	35	60.3	-8	-22.9
公然わいせつ	29	45.3	14	24.1	15	107.1
わいせつ物頒布等	8	12.5	6	10.3	2	33.3

過去10年間の認知件数の推移をみると第12図のとおりである。風俗犯は過去10年でみると平成24年に最大となったが、それ以降は減少傾向を示し、令和2年は平成24年に比べて総数では半分以下となり、強制わいせつは過去10年で最低の件数となった。



(ク) その他の刑法犯

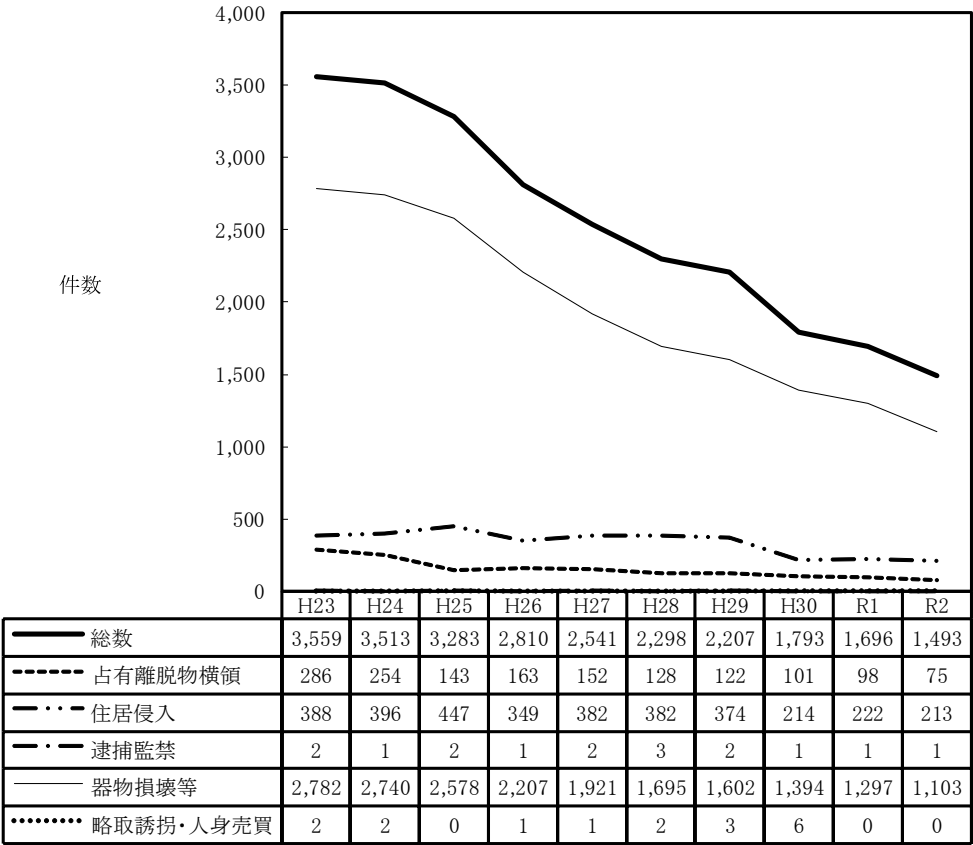
令和2年中のその他の刑法犯は、第9表のとおり1,493件で、前年に比べ203件(12.0%)減少した。占有離脱物横領、住居侵入、器物損壊等が減少している。

第9表 その他の刑法犯認知件数増減比較

罪 種	令和2年		令和元年		増 減	
	件 数	構 成 比	件 数	構 成 比	件 数	率
総 数	1,493	100.0	1,696	100.0	-203	-12.0
うち) 略取誘拐・人身売買	—	—	—	—	±0	±0.0
うち) 占有離脱物横領	75	5.0	98	5.8	-23	-23.5
うち) 住 居 侵 入	213	14.3	222	13.1	-9	-4.1
うち) 逮 捕 監 禁	1	0.1	1	0.1	±0	±0.0
うち) 器 物 損 壊 等	1,103	73.9	1,297	76.5	-194	-15.0

過去10年間の認知件数の推移をみると第13図のとおりである。総数、占有離脱物横領、住居侵入、器物損壊等は過去10年で最低の件数となった。

第13図 その他の主要刑法犯 認知件数の推移



ウ 警察署別にみた刑法犯発生(認知)状況

令和2年中の刑法犯認知件数を警察署別にみると、第10表のとおりで、前年と比べすべての警察署で減少した。

第10表 警察署別刑法犯認知件数

署 別	令和2年	令和元年	増 減 数	増 減 率
桑 名	652	729	-77	-10.6
い な べ	244	266	-22	-8.3
四 日 市 北	704	818	-114	-13.9
四 日 市 南	1,039	1,374	-335	-24.4
四 日 市 西	202	337	-135	-40.1
亀 山	198	207	-9	-4.3
鈴 鹿	1,297	1,398	-101	-7.2
津	1,063	1,340	-277	-20.7
津 南	462	565	-103	-18.2
松 阪	958	1,080	-122	-11.3
大 台	63	78	-15	-19.2
伊 勢	671	715	-44	-6.2
鳥 羽	188	220	-32	-14.5
尾 鷲	119	154	-35	-22.7
熊 野	41	50	-9	-18.0
紀 宝	90	103	-13	-12.6
伊 賀	305	475	-170	-35.8
名 張	264	413	-149	-36.1
総 数	8,560	10,322	-1,762	-17.1

(2) 犯罪の被害状況

ア 生命・身体被害

令和2年中に刑法犯により生命・身体に被害を受けた者の数は第11表のとおり、235人で、前年に比べ20人(7.8%)減少した。

また、県民一人当たりでみると、1.3人(前年1.4人)となっている。

第11表 死傷被害者数

罪 種	平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年	
	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者
総 数	9	305	6	283	5	255	2	253	10	225
殺 人	2	4	5	5	3	3	1	5	6	5
強盗・強制性交等	—	10	—	12	—	8	—	12	—	9
傷 害 ・ 同 致 死	1	279	1	254	—	233	1	223	1	205
過 失 致 死 傷	—	4	—	1	—	5	—	5	1	2
業過(交を除く)	6	2	—	3	2	1	—	4	2	3
放 火 ・ 失 火	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—
強 制 わ い せ つ	—	6	—	7	—	4	—	3	—	1
遺 棄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
逮 捕 監 禁	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
恐 喝	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建 造 物 損 壊	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
決闘罪ニ関スル件	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

イ 財産被害

令和2年中に認知した財産犯(強盗、恐喝、窃盗、詐欺、横領及び占有離脱物横領をいう。以下同じ)の被害総額は約13億円で、このうち現金被害額は約6億1千万円(総額の47.5%)である。

これを罪種別にみると、第12表、第14図のとおりで、詐欺と窃盗の被害がそれぞれ約6億円で、2罪種で被害総額の92.7%を占めており、以下、横領、強盗、恐喝、占有離脱物横領の順に被害額が多くなっている。

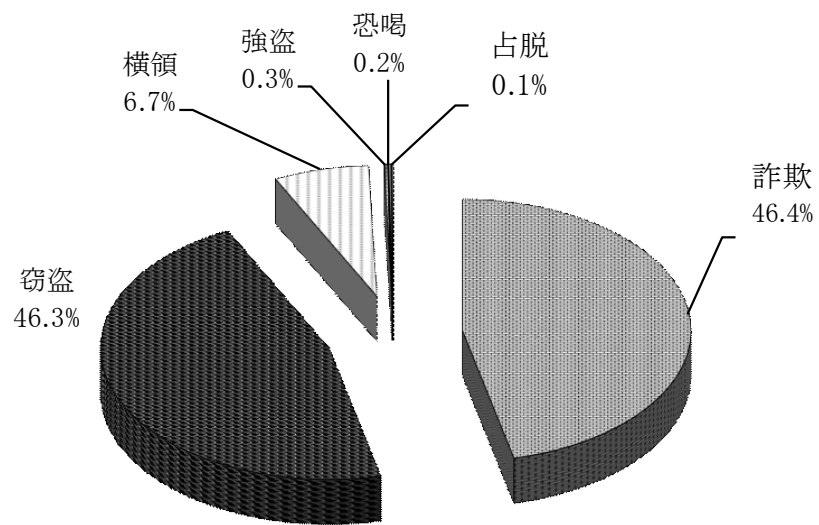
第12表 財産犯の被害額

[単位:千円]

罪 種	平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年	
	総 額	う ち 現 金	総 額	う ち 現 金	総 額	う ち 現 金	総 額	う ち 現 金	総 額	う ち 現 金
総 数	2,403,654	914,349	1,578,453	562,041	1,455,265	792,377	1,197,053	639,166	1,291,092	612,817
強 盗	592	532	2,300	842	3,187	2,211	517	302	3,427	914
恐 喝	3,052	3,045	1,751	1,098	749	678	25,648	25,598	2,443	2,441
窃 盗	1,652,723	293,091	1,165,194	223,437	873,715	262,636	708,191	186,880	597,764	178,015
詐 欺	635,701	596,562	375,781	310,401	531,495	496,398	349,399	322,406	598,790	348,023
横 領	110,328	20,906	31,073	24,810	44,647	29,852	112,122	103,423	86,980	82,489
占 脱	1,258	213	2,354	1,453	1,472	602	1,176	557	1,688	935

注:「占脱」とは占有離脱物横領をいい、その被害額は「横領」に含まない。

第14図 財産犯の罪種別構成比



(3) 検挙状況

ア 概況

令和2年中の刑法犯検挙状況は第13表のとおり、検挙件数は、3,591件、検挙人員は1,863人で、前年に比べ検挙件数、検挙人員ともに減少した。

包括罪種別に前年と比較すると、凶悪犯、その他の刑法犯の検挙件数、検挙人員が増加した。

第13表 刑法犯検挙件数・検挙人員

包括罪種	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 2年	令和 元年	増 減		令和 2年	令和 元年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	3,591	3,829	-238	-6.2	1,863	1,938	-75	-3.9
凶 悪 犯	47	40	7	17.5	51	45	6	13.3
粗 暴 犯	360	393	-33	-8.4	357	388	-31	-8.0
窃 盗 犯	2,486	2,609	-123	-4.7	1,059	1,115	-56	-5.0
知 能 犯	299	432	-133	-30.8	141	164	-23	-14.0
風 俗 犯	55	59	-4	-6.8	43	53	-10	-18.9
そ の 他	344	296	48	16.2	212	173	39	22.5

刑法犯検挙件数、検挙人員の過去10年間の推移は、第14表のとおりである。検挙件数は平成23年をピークに減少傾向を示しており、令和2年は過去10年で最低の検挙件数となった。また、検挙人員も、平成23年以降は減少傾向を示しており、令和2年は成人、少年ともに過去10年で最低の検挙人員となった。

第14表 刑法犯検挙状況

年 別	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2
検 挙 件 数	7,191	5,471	6,048	5,395	4,865	4,557	5,717	4,964	3,829	3,591
検 総 数	3,066	2,898	2,448	2,447	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863
挙 成 人	2,139	2,157	1,855	1,877	1,890	1,865	1,945	1,970	1,723	1,688
人 少 年	927	741	593	570	388	294	248	240	215	175
員 構 成 比	30.2	25.6	24.2	23.3	17.0	13.6	11.3	10.9	11.1	9.4

注：検挙人員は検挙時年齢による。

刑法犯検挙人員1,863人を犯行時の年齢別にみると第15表のとおりで、10歳代、40歳代、50歳以上の人員が過去10年間で最低の人員となった。

第15表 刑法犯犯行時の年齢別検挙人員の推移

年別 年齢別	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2
総 数	3,066	2,898	2,448	2,447	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863
14～19歳	937	750	600	577	397	296	259	245	219	180
20～29歳	424	447	308	335	291	319	327	289	290	324
30～39歳	376	373	359	324	322	316	318	314	262	267
40～49歳	396	390	343	334	350	380	339	352	326	302
50歳以上	933	938	838	877	918	848	950	1,010	841	790

イ 罪種別にみた検挙状況

(ア) 重要犯罪

令和2年中の重要犯罪の検挙は第16表のとおり、検挙件数は71件、検挙人員は70人、検挙率は100.0%であった。検挙率は5.2ポイント上昇した。

第16表 重要犯罪検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員		検 挙 率	
	令和 2年	令和 元年	増 減		令和 2年	令和 元年	令和 2年	令和 元年
			数	率				
総 数	71	73	-2	-2.7	70	70	100.0	94.8
殺 人	11	8	3	37.5	18	7	91.7	133.3
強 盗	14	15	-1	-6.7	13	22	140.0	93.8
放 火	6	6	-	-	4	6	85.7	100.0
強 制 性 交 等	16	11	5	45.5	16	10	106.7	78.6
略取誘拐・人身売買	-	-	-	-	-	-	-	-
強制わいせつ	24	33	-9	-27.3	19	25	88.9	94.3

(イ) 重要窃盗犯

令和2年中の重要窃盗犯の検挙は第17表のとおり、検挙件数は609件、検挙人員は82人、検挙率は60.0%で、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに減少した。検挙率は前年より12.9ポイント減少した。

第17表 重要窃盗犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員		検 挙 率	
	令和 2年	令和 元年	増 減		令和 2年	令和 元年	令和 2年	令和 元年
			数	率				
総 数	609	924	-315	-34.1	82	104	60.0	72.9
侵 入 盗	549	866	-317	-36.6	69	81	57.4	76.6
住宅対象	159	555	-396	-71.4	28	39	34.9	107.6
そ の 他	390	311	79	25.4	41	42	77.8	50.7
自 動 車 盗	56	55	1	1.8	11	21	107.7	44.0
ひ っ た く り	1	2	-1	-50.0	1	2	20.0	18.2
す り	3	1	2	200.0	1	-	300.0	50.0

(ウ) 凶悪犯

令和2年中の凶悪犯の検挙は、第18表のとおり、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに増加した。

第18表 凶悪犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 2年	平成 元年	増 減		令和 2年	平成 元年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	47	40	7	17.5	51	45	6	13.3
殺 人	11	8	3	37.5	18	7	11	157.1
強 盗	14	15	-1	-6.7	13	22	-9	-40.9
放 火	6	6	±0	±0.0	4	6	-2	-33.3
強制性交等	16	11	5	45.5	16	10	6	60.0

(エ) 粗暴犯

令和2年中の粗暴犯の検挙は、第19表のとおり、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに減少した。

第19表 粗暴犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 2年	令和 元年	増 減		令和 2年	令和 元年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	360	393	-33	-8.4	357	388	-31	-8.0
凶器準備集合	-	-	-	-	-	-	-	-
暴 行	178	197	-19	-9.6	172	192	-20	-10.4
傷 害	147	170	-23	-13.5	154	173	-19	-11.0
脅 迫	21	14	7	50.0	16	11	5	45.5
恐 喝	14	12	2	16.7	15	12	3	25.0

(オ) 窃盗犯

令和2年中の窃盗犯の検挙は第20表のとおりである。前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに減少した。検挙件数を手口別にみると、車上ねらい、万引きの増加が目立ち、空き巣、忍込みが大きく減少した。

第20表 窃盗犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 2年	令和 元年	増 減		令和 2年	令和 元年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	2,486	2,609	-123	-4.7	1,059	1,115	-56	-5.0
侵 入 盗	549	866	-317	-36.6	69	81	-12	-14.8
空 き 巣	106	269	-163	-60.6	20	32	-12	-37.5
忍 込 み	45	276	-231	-83.7	5	4	1	25.0
居 空 き	8	10	-2	-20.0	3	3	±0	±0.0
金 庫 破 り	20	12	8	66.7	1	6	-5	-83.3
学 校 荒 し	4	7	-3	-42.9	-	-	±0	-
事 務 所 荒 し	102	45	57	126.7	1	2	-1	-50.0
出 店 荒 し	79	110	-31	-28.2	20	15	5	33.3
そ の 他	185	137	48	35.0	19	19	±0	±0.0
乗 り 物 盗	138	165	-27	-16.4	66	84	-18	-21.4
自 動 車 盗	56	55	1	1.8	11	21	-10	-47.6
オ ー ト バ イ 盗	23	22	1	4.5	20	12	8	66.7
自 転 車 盗	59	88	-29	-33.0	35	51	-16	-31.4
非 侵 入 盗	1,799	1,578	221	14.0	924	950	-26	-2.7
部 品 ね ら い	35	57	-22	-38.6	4	6	-2	-33.3
車 上 ね ら い	155	78	77	98.7	9	12	-3	-25.0
ひ っ た く り	1	2	-1	-50.0	1	2	-1	-50.0
す り	3	1	2	200.0	1	-	1	-
自動販売機ねらい	2	24	-22	-91.7	1	4	-3	-75.0
万 引 き	938	818	120	14.7	682	701	-19	-2.7
置 引 き	100	94	6	6.4	76	92	-16	-17.4
そ の 他	565	504	61	12.1	150	133	17	12.8

(カ) 知能犯

令和2年中の知能犯の検挙は、第21表のとおり、前年に比べ検挙件数、検挙人員ともに減少した。

第21表 知能犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 2年	令和 元年	増 減		令和 2年	令和 元年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	299	432	-133	-30.8	141	164	-23	-14.0
詐 欺	255	371	-116	-31.3	108	121	-13	-10.7
横 領	29	35	-6	-17.1	21	25	-4	-16.0
偽 造	14	26	-12	-46.2	11	18	-7	-38.9
汚 職	-	-	-	-	-	-	-	-
あっせん利得処罰法	-	-	-	-	-	-	-	-
背 任	1	-	1	-	1	-	1	-

(キ) 風俗犯

令和2年中の風俗犯の検挙は、第22表のとおり、前年に比べ検挙件数、検挙人員ともに減少した。

第22表 風俗犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 2年	令和 元年	増 減		令和 2年	令和 元年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	55	59	-4	-6.8	43	53	-10	-18.9
賭 博	-	2	-2	-100.0	-	9	-9	-100.0
強制わいせつ	24	33	-9	-27.3	19	25	-6	-24.0
公然わいせつ	25	17	8	47.1	19	14	5	35.7
わいせつ物頒布等	6	7	-1	-14.3	5	5	±0	±0.0

(ク) その他の刑法犯

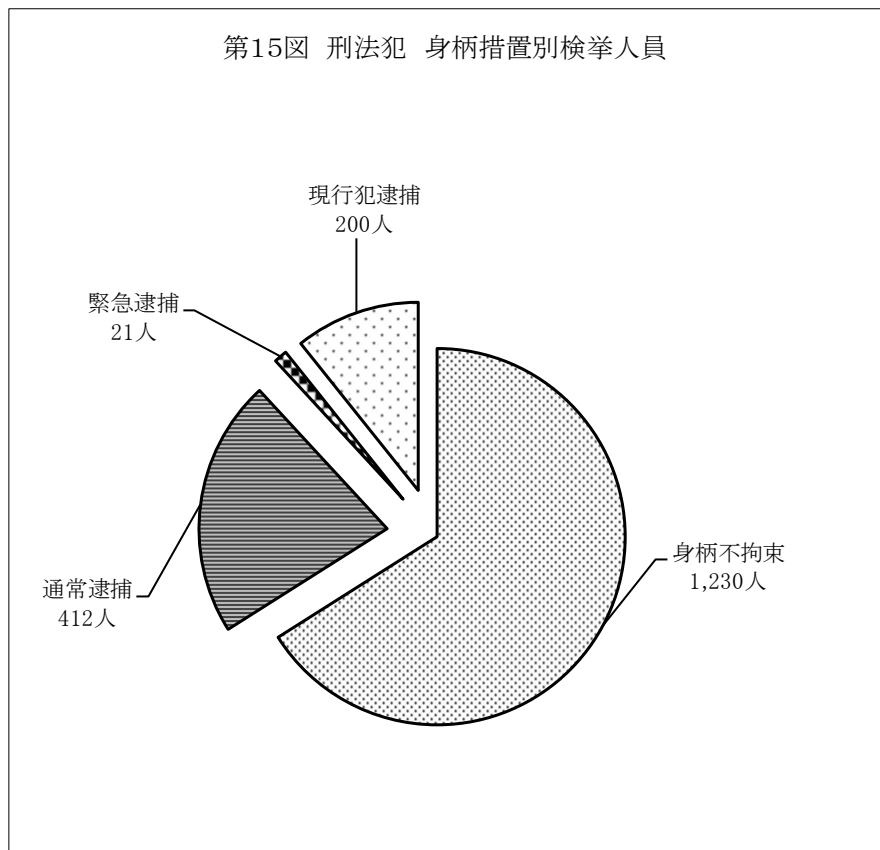
令和2年中のその他の刑法犯の検挙は、第23表のとおり、前年に比べ検挙件数、検挙人員ともに増加した。

第23表 その他の刑法犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和	令和	増 減		令和	令和	増 減	
	2年	元年	数	率	2年	元年	数	率
総 数	344	296	48	16.2	212	173	39	22.5
うち) 略取誘拐・人身売買	-	-	-	-	-	-	-	-
うち) 占有離脱物横領	69	79	-10	-12.7	66	74	-8	-10.8
うち) 住 居 侵 入	84	83	1	1.2	36	20	16	80.0
うち) 逮 捕 監 禁	1	-	1	-	4	-	4	-
うち) 器 物 損 壊 等	118	94	24	25.5	41	46	-5	-10.9

ウ 身柄措置別検挙状況

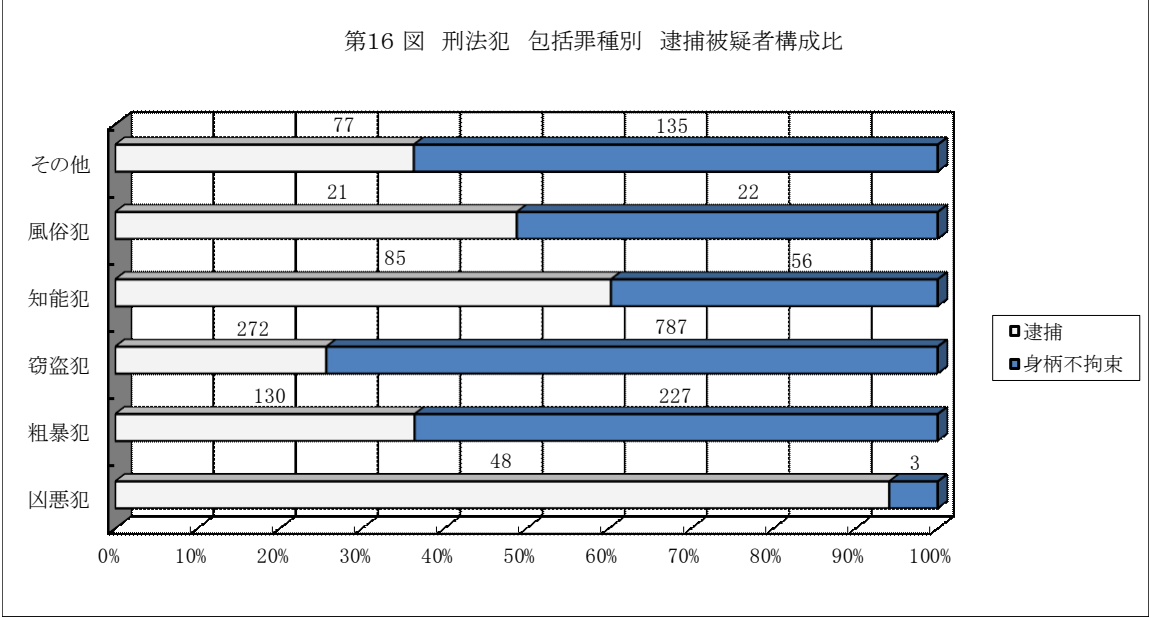
令和2年中の刑法犯検挙人員1,863人を身柄措置別にみると、第15図、第24表のとおりで、身柄不拘束者は1,230人、逮捕人員は633人であった。



第24表 刑法犯包括罪種別身柄措置別検挙人員

身柄措置別 包括罪種別		総 数	身柄不拘束	逮 捕 計	現行犯逮捕	緊急逮捕	通常逮捕
総 数	令和2	1,863	1,230	633	200	21	412
	令和元	1,938	1,295	643	228	23	392
	増減数	-75	-65	-10	-28	-2	20
凶 悪 犯	令和2	51	3	48	5	3	40
	令和元	45	3	42	12	3	27
	増減数	6	±0	6	-7	±0	13
粗 暴 犯	令和2	357	227	130	49	1	80
	令和元	388	264	124	48	1	75
	増減数	-31	-37	6	1	±0	5
窃 盗 犯	令和2	1,059	787	272	100	10	162
	令和元	1,115	805	310	124	16	170
	増減数	-56	-18	-38	-24	-6	-8
	うち) 侵入盗	令和2	69	57	7	2	48
		令和元	81	69	9	3	57
		増減数	-12	±0	-2	-1	-9
知 能 犯	令和2	141	56	85	13	1	71
	令和元	164	76	88	15	3	70
	増減数	-23	-20	-3	-2	-2	1
風 俗 犯	令和2	43	22	21	1	1	19
	令和元	53	26	27	-	-	27
	増減数	-10	-4	-6	1	1	-8
そ の 他	令和2	212	135	77	32	5	40
	令和元	173	121	52	29	-	23
	増減数	39	14	25	3	5	17

また、包括罪種別に逮捕被疑者の構成比をみると第16図のとおりで、逮捕被疑者の占める率が最も高いのは凶悪犯で、最も低いのは窃盗犯である。



エ 女性に係る犯罪

令和2年中における女性被害に係る刑法犯認知件数は第25表のとおり、2,028件で、前年に比べ438件(17.8%)減少した。包括罪種別にみると、風俗犯では被害の約93%、凶悪犯では被害の約62%が女性である。

第25表 女性被害に係る刑法犯認知件数前年対比

区 分	令和2年			令和元年			増 減		
	人の被害			人の被害			人の被害		
	の 計	うち)女	構成比	の 計	うち)女	構成比	の 計	うち)女	ポイント
総 数	5,762	2,028	35.2	7,185	2,466	34.3	-1,423	-438	0.9
凶 悪 犯	42	26	61.9	37	19	51.4	5	7	10.5
粗 暴 犯	430	205	47.7	473	204	43.1	-43	1	4.6
窃 盗 犯	3,845	1,225	31.9	5,124	1,644	32.1	-1,279	-419	-0.2
侵入盗	689	208	30.2	842	234	27.8	-153	-26	2.4
乗り物盗	1,450	421	29.0	2,373	777	32.7	-923	-356	-3.7
非侵入盗	1,706	596	34.9	1,909	633	33.2	-203	-37	1.7
知 能 犯	248	122	49.2	248	115	46.4	0	7	2.8
風 俗 犯	41	38	92.7	41	38	92.7	0	0	0.0
そ の 他	1,156	412	35.6	1,262	446	35.3	-106	-34	0.3

女性被害に係る刑法犯認知件数の過去10年間の推移をみると、第26表のとおりで、平成23年以降、減少傾向を示しており、令和2年には過去10年で最低の件数となった。

第26表 女性被害に係る刑法犯認知件数の推移

区 分	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2
総 数	5,395	5,393	4,952	4,142	3,387	3,089	3,035	2,587	2,466	2,028
凶 悪 犯	37	31	32	25	27	24	27	21	19	26
粗 暴 犯	175	147	184	160	166	198	226	225	204	205
窃 盗 犯	4,121	4,184	3,675	3,040	2,371	2,070	1,971	1,668	1,644	1,225
侵入盗	365	346	430	374	313	269	270	188	234	208
乗り物盗	1,884	2,026	1,727	1,461	1,142	931	842	725	777	421
非侵入盗	1,872	1,812	1,518	1,205	916	870	859	755	633	596
知 能 犯	122	90	159	158	168	146	190	121	115	122
風 俗 犯	61	87	82	61	48	51	41	49	38	38
そ の 他	879	854	820	698	607	600	580	503	446	412

令和2年中における刑法犯検挙人員のうち、女性の検挙人員は第27表のとおり、429人で、前年に比べ、29人(6. 3%)減少した。刑法犯検挙人員に占める女性の割合は23. 0%で、前年に比べ0. 6ポイント下降した。

第27表 女性の刑法犯検挙人員の推移

区 分	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2
総 数	715	604	544	517	508	462	487	488	458	429
凶 悪 犯	6	6	6	4	3	6	6	3	3	4
粗 暴 犯	22	15	30	16	20	28	24	28	39	39
窃 盗 犯	609	501	436	436	425	376	406	375	368	326
侵入盗	5	6	8	1	6	3	1	2	4	1
乗り物盗	23	19	14	7	12	7	4	2	10	3
非侵入盗	581	476	414	428	407	366	401	371	354	322
知 能 犯	30	44	42	35	25	28	32	46	33	33
風 俗 犯	-	4	4	4	4	4	1	14	-	-
そ の 他	48	34	26	22	31	20	18	22	15	27

オ 高齢者に係る犯罪

令和2年中における高齢者被害に係る刑法犯認知件数は第28表のとおり、1,061件で、前年に比べ182件(14.6%)の減少となった。

刑法犯全体に占める高齢者の割合は12.4%で、前年に比べ、0.4ポイント上昇した。

高齢者被害に係る刑法犯認知件数の10年間の推移をみると、令和2年は総数、粗暴犯、窃盗犯に占める高齢者の割合が過去10年間で最高の構成比となった。

第28表 高齢者被害に係る刑法犯認知件数の推移

区 分	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2
総 数	2,316	2,150	2,170	2,016	1,696	1,621	1,523	1,194	1,243	1,061
構 成 比	10.4	10.0	11.0	11.5	11.2	11.5	11.4	10.6	12.0	12.4
凶 悪 犯	9	10	5	10	7	2	8	8	6	6
構 成 比	12.2	13.5	7.7	16.7	14.9	4.2	17.4	15.4	14.3	13.6
粗 暴 犯	31	24	29	37	26	35	35	40	45	46
構 成 比	5.8	4.6	5.3	7.5	5.8	7.1	7.0	7.9	9.5	10.6
窃 盗 犯	1,851	1,684	1,631	1,510	1,263	1,140	1,096	831	857	715
構 成 比	10.6	10.2	10.8	11.2	11.0	10.9	11.1	10.1	11.4	11.7
知 能 犯	75	65	123	109	124	139	105	83	79	82
構 成 比	14.6	9.5	18.0	17.6	20.7	18.5	15.0	14.2	15.6	19.5
風 俗 犯	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-
構 成 比	1.0	-	-	-	-	-	-	3.1	-	-
そ の 他	349	367	382	350	276	305	279	230	256	212
構 成 比	9.8	10.4	11.6	12.5	10.9	13.3	12.6	12.8	15.1	14.2

* 構成比は総数に占める高齢者の割合をいう。

令和2年中における刑法犯検挙人員のうち、高齢者の検挙人員は第29表のとおり、425人で、全体に占める割合は22.8%である。

第29表 高齢者検挙人員の推移

区 分	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2
総 数	461	464	419	470	495	486	510	558	457	425
構 成 比	15.0	16.0	17.1	19.2	21.7	22.5	23.3	25.2	23.6	22.8
凶 悪 犯	3	4	3	3	3	2	5	4	4	4
構 成 比	6.4	7.0	7.7	5.6	7.3	5.4	13.5	11.4	8.9	7.8
粗 暴 犯	21	27	31	32	43	34	44	59	55	43
構 成 比	6.3	7.7	8.9	9.4	12.7	9.4	12.0	15.0	14.2	12.0
窃 盗 犯	395	380	336	388	391	400	415	405	340	332
構 成 比	19.8	20.7	22.0	25.7	27.3	30.0	30.4	33.0	30.5	31.4
知 能 犯	9	7	19	19	13	11	17	26	16	13
構 成 比	4.6	3.4	8.9	9.6	8.8	7.0	9.7	12.3	9.8	9.2
風 俗 犯	2	8	5	3	4	8	3	31	5	3
構 成 比	3.8	8.9	7.6	3.9	7.4	14.3	9.1	20.8	9.4	7.0
そ の 他	31	38	25	25	41	31	26	33	37	30
構 成 比	7.0	10.7	10.0	9.3	15.6	14.5	12.0	17.1	21.4	14.2

* 構成比は総数に占める高齢者の割合をいう。

2 特別法犯検挙状況

令和2年中における特別法犯の検挙状況をみると、検挙件数は592件、検挙人員は437人で、前年に比べ、検挙件数は11件(1.8%)減少し、検挙人員は36人(7.6%)減少した。

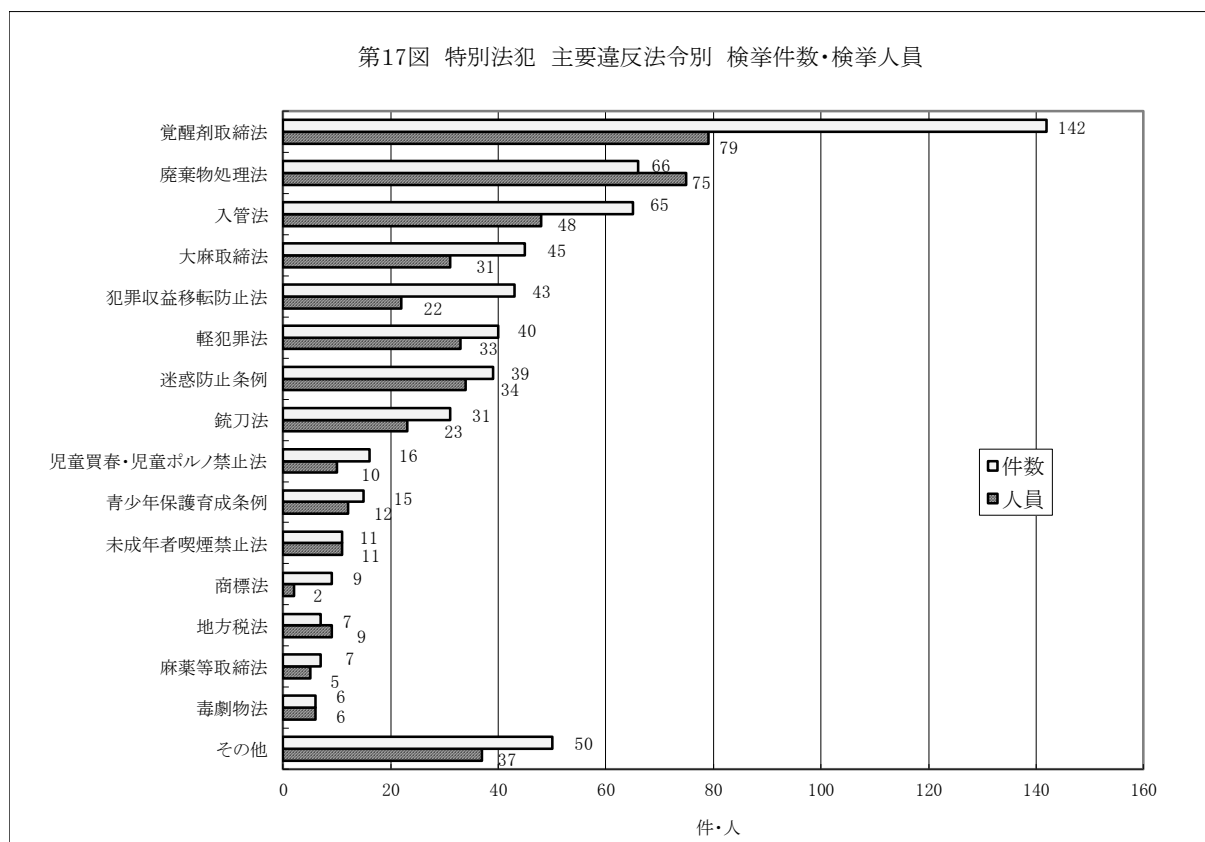
違反法令別に前年と比較すると、検挙件数は第30表のとおり、入管法、軽犯罪法、銃刀法等が増加し、迷惑防止条例、青少年保護育成条例等が減少した。

第30表 特別法犯検挙状況

違 反 法 令 別	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和2年	令和元年	増減数	令和2年	令和元年	増減数
公 職 選 挙 法 [0001]	-	2	-2	-	13	-13
政 治 資 金 規 正 法 [0002]	2	1	1	-	2	-2
入 管 法 [0123]	65	54	11	48	44	4
軽 犯 罪 法 [0240]	40	24	16	33	25	8
迷 惑 防 止 条 例 [0242]	39	50	-11	34	37	-3
動 物 愛 護 管 理 法 [0243]	5	5	±0	6	4	2
ス ト ー カ ー 規 制 法 [0245]	4	5	-1	1	5	-4
D V 法 [0246]	1	-	1	-	-	±0
私事性的画像被害防止法 [0249]	1	1	±0	1	-	1
風 営 適 正 化 法 [0460]	6	9	-3	5	4	1
児 童 福 祉 法 [1080]	1	1	±0	1	1	±0
未 成 年 者 喫 煙 禁 止 法 [1081]	11	12	-1	11	12	-1
青 少 年 保 護 育 成 条 例 [1083]	15	25	-10	12	20	-8
児童買春・児童ポルノ禁止法 [1085]	16	16	±0	10	16	-6
出 資 法 [1300]	-	3	-3	-	-	±0
貸 金 業 法 [1303]	-	3	-3	-	3	-3
犯 罪 収 益 移 転 防 止 法 [1305]	43	39	4	22	23	-1
宅 建 法 [1410]	1	-	1	1	-	1
銃 刀 法 [2160]	31	21	10	23	20	3
狩 猟 法 [2161]	1	5	-4	1	4	-3
火 薬 類 取 締 法 [2163]	-	1	-1	-	1	-1
麻 薬 等 取 締 法 [2280]	7	3	4	5	-	5
大 麻 取 締 法 [2282]	45	51	-6	31	29	2
覚 醒 剤 取 締 法 [2283]	142	133	9	79	85	-6
医 薬 品 医 療 機 器 等 法 [2284]	1	1	±0	2	-	2

違 反 法 令 別	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和2年	令和元年	増減数	令和2年	令和元年	増減数
毒 劇 物 法 [2285]	6	2	4	6	2	4
麻 薬 等 特 例 法 [2288]	1	3	-2	-	1	-1
食 品 衛 生 法 [2520]	-	1	-1	-	-	±0
廃 棄 物 処 理 法 [2538]	66	59	7	75	67	8
狂 犬 病 予 防 法 [2546]	5	13	-8	5	12	-7
建 設 資 材 再 資 源 化 法 [2556]	-	1	-1	-	-	±0
地 方 税 法 [4344]	7	-	7	9	-	9
労 働 基 準 法 [5510]	3	-	3	2	-	2
職 業 安 定 法 [5511]	-	3	-3	-	-	±0
不 正 競 争 防 止 法 [5643]	-	3	-3	-	3	-3
労 働 者 派 遣 法 [5647]	1	-	1	-	-	±0
銀 行 法 [6460]	-	4	-4	-	3	-3
割 賦 販 売 法 [6582]	-	1	-1	-	-	±0
森 林 法 [7515]	1	7	-6	1	7	-6
漁 業 法 [7518]	3	5	-2	3	6	-3
種 の 保 存 法 [7524]	-	2	-2	-	2	-2
航 空 法 [7755]	-	1	-1	-	1	-1
電 波 法 [8581]	1	5	-4	1	5	-4
不 正 ア ク セ ス 禁 止 法 [8586]	3	11	-8	2	3	-1
地 方 公 務 員 法 [8729]	1	-	1	1	-	1
商 標 法 [8849]	9	-	9	2	-	2
著 作 権 法 [8851]	-	1	-1	-	1	-1
国 民 生 活 安 定 緊 急 措 置 法 [9150]	1	-	1	1	-	1
四日市市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 [9800]	1	2	-1	1	4	-3
四日市市客引き行為等の防止に関する条例 [9800]	1	2	-1	2	1	1
津市廃棄物の減量及び処理等に関する条例 [9800]	-	2	-2	-	2	-2
三重県動物の愛護及び管理に関する条例 [9810]	5	9	-4	-	4	-4
三 重 県 自 然 環 境 保 全 条 例 [9870]	-	1	-1	-	1	-1
総 数	592	603	-11	437	473	-36

違反法令別にみると、第17図のとおりで、検挙件数、検挙人員とも、覚醒剤取締法、廃棄物処理法、入管法等が上位を占めている。



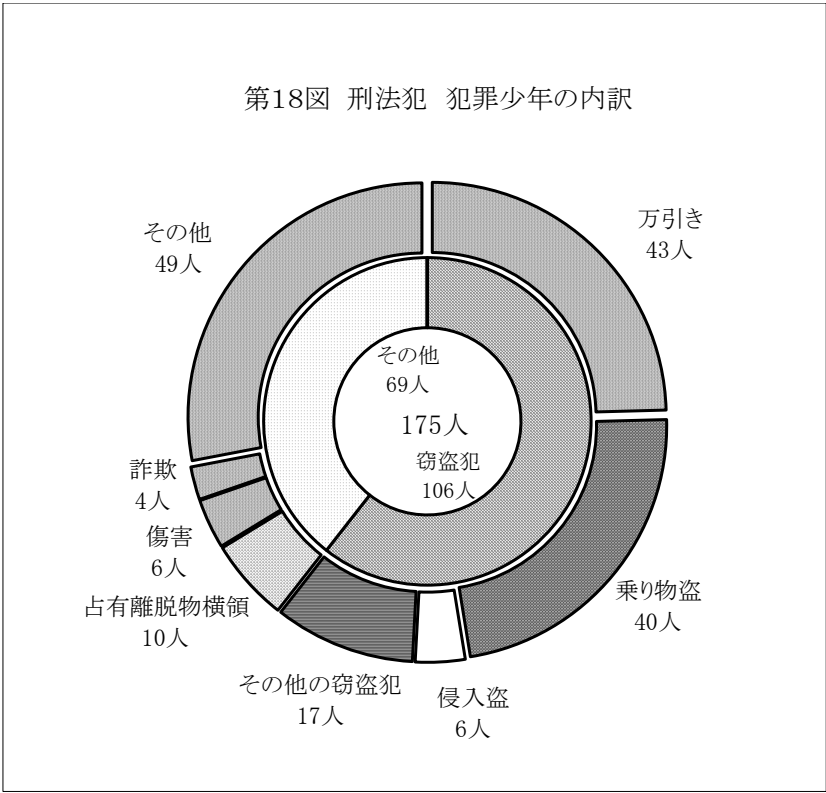
3 少年犯罪の状況

- (1) 令和2年中に検挙された刑法犯の犯罪少年は、第31表のとおり175人で前年に比べ40人(18.6%)減少した。罪種別にみると、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯、知能犯が減少した。

第31表 刑法犯犯罪少年検挙人員増減比較

包括罪種	令和2年		令和元年		増 減	
	数	構成比	数	構成比	人員	率
総 数	175	100.0	215	100.0	-40	-18.6
凶 悪 犯	4	2.3	5	2.3	-1	-20.0
粗 暴 犯	14	8.0	27	12.6	-13	-48.1
窃 盗 犯	106	60.6	130	60.5	-24	-18.5
知 能 犯	5	2.9	11	5.1	-6	-54.5
風 俗 犯	4	2.3	3	1.4	1	33.3
そ の 他	42	24.0	39	18.1	3	7.7

また、第18図のとおり、窃盗犯の少年が犯罪少年全体の約6割を占めている。特に万引き、乗り物盗の占める率が高い。



(2) 刑法犯検挙人員に占める少年の構成比の10年間の推移をみると、第32表のとおりで、平成23年をピークに減少傾向であり、令和2年は過去10年において少年の構成比が最も小さい。

第32表 刑法犯検挙人員に占める少年の構成比

区 分	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2
総 数	3,066	2,898	2,448	2,447	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863
うち)少年	927	741	593	570	388	294	248	240	215	175
構 成 比	30.2	25.6	24.2	23.3	17.0	13.6	11.3	10.9	11.1	9.4

(3) 令和2年中の刑法犯検挙人員に占める少年の構成比を警察署別にみると、第33表のとおりで、犯罪少年の構成比が最も高かったのは、大台警察署の31.3%で、紀宝警察署は発生がなかった。

第33表 刑法犯検挙人員に占める少年の構成比(警察署別)

区 分		平 28	平 29	平 30	令 元	令 2	区 分		平 28	平 29	平 30	令 元	令 2
総 数 桑 名 い な べ 四 北 四 南 四 西 亀 山 鈴 鹿 津 津 南	総 数	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	松 阪 大 台 伊 勢 鳥 羽 尾 鷺 熊 野 紀 宝 伊 賀 名 張 本 部	総 数	257	249	269	211	218
	うち)少年	294	248	240	215	175		うち)少年	32	25	24	19	20
	構 成 比	13.6	11.3	10.9	11.1	9.4		構 成 比	12.5	10.0	8.9	9.0	9.2
	総 数	156	153	124	139	116		総 数	19	13	12	13	16
	うち)少年	18	12	13	15	9		うち)少年	4.0	-	1.0	-	5
	構 成 比	11.5	7.8	10.5	10.8	7.8		構 成 比	21.1	-	8.3	-	31.3
	総 数	59	64	49	65	60		総 数	137	143	216	160	159
	うち)少年	3	2	4	3	5		うち)少年	21	27	23	20	9
	構 成 比	5.1	3.1	8.2	4.6	8.3		構 成 比	15.3	18.9	10.6	12.5	5.7
	総 数	155	175	176	134	177		総 数	73	48	51	66	57
	うち)少年	22	15	16	18	9		うち)少年	15	8	5	7	3
	構 成 比	14.2	8.6	9.1	13.4	5.1		構 成 比	20.5	16.7	9.8	10.6	5.3
	総 数	301	270	220	200	197		総 数	36	39	41	46	33
	うち)少年	42	23	19	16	21		うち)少年	-	6.0	6.0	2	1
	構 成 比	14.0	8.5	8.6	8.0	10.7		構 成 比	-	15.4	14.6	4.3	3.0
	総 数	60	74	86	66	44		総 数	22	29	31	16	15
	うち)少年	11	5	10	5	7		うち)少年	1	2	1	2	1
	構 成 比	18.3	6.8	11.6	7.6	15.9		構 成 比	4.5	6.9	3.2	12.5	6.7
	総 数	40	57	53	66	67		総 数	10	18	12	3	9
	うち)少年	5	4	3	16	7		うち)少年	4	4	3	-	-
	構 成 比	12.5	7.0	5.7	24.2	10.4		構 成 比	40.0	22.2	25.0	-	-
	総 数	287	304	285	286	266		総 数	103	93	108	79	61
	うち)少年	44	47	52	47	29		うち)少年	10	6	13	7	7
	構 成 比	15.3	15.5	18.2	16.4	10.9		構 成 比	9.7	6.5	12.0	8.9	11.5
	総 数	287	266	256	188	164		総 数	78	86	74	80	99
	うち)少年	50	37	22	18	15		うち)少年	6	16	8	11	14
	構 成 比	17.4	13.9	8.6	9.6	9.1		構 成 比	7.7	18.6	10.8	13.8	14.1
	総 数	79	112	147	120	105		総 数	-	-	-	-	-
	うち)少年	6	9	17	9	13		うち)少年	-	-	-	-	-
	構 成 比	7.6	8.0	11.6	7.5	12.4		構 成 比	-	-	-	-	-

(4) 触法少年を除く少年犯罪の過去10年間の推移を犯行時年齢別にみると、第34表のとおりで、14歳から16歳までの低年齢層が約7割を占めていたが、令和元年以降は約5割となっている。

第34表 刑法犯の犯行時年齢別検挙人員の推移(14～19歳)

区 分	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2
総数	937	750	600	577	397	296	259	245	219	180
14歳	194	124	127	87	59	45	36	33	43	19
15歳	249	193	147	171	84	63	32	52	30	27
16歳	215	189	151	126	106	60	53	59	43	47
17歳	137	130	91	93	68	58	54	34	41	33
18歳	70	62	40	63	51	36	47	38	41	36
19歳	72	52	44	37	29	34	37	29	21	18

* 本表の検挙人員は検挙時に成人していた被疑者を含む。

4 暴力団犯罪の状況

- (1) 令和2年中の暴力団の検挙状況は、第35表のとおり、検挙件数は280件、検挙人員は119人で、前年に比べ、検挙件数は34件(10.8%)減少し、検挙人員は17人(12.5%)減少した。

第35表 暴力団犯罪検挙状況

区 分		平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2
総 数	件数	576	225	673	256	314	280
	人員	167	151	140	188	136	119
刑 法 犯	件数	476	139	589	190	253	233
	人員	107	108	97	149	99	93
特 別 法 犯	件数	100	86	84	66	61	47
	人員	60	43	43	39	37	26

- (2) 暴力団犯罪のうち、刑法犯の検挙状況を前年と比較すると、第36表のとおりで、検挙件数は20件(7.9%)減少し、検挙人員は6人(6.1%)減少した。

第36表 暴力団犯罪(刑法犯)罪種別検挙件数・検挙人員

罪 種	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和2年	令和元年	増減数	令和2年	令和元年	増減数
総 数	233	253	-20	93	99	-6
殺 人	1	1	±0	1	1	±0
強 盗	-	1	-1	-	3	-3
放 火	-	-	±0	-	-	±0
強 制 性 交 等	-	1	-1	-	1	-1
凶 器 準 備 集 合	-	-	±0	-	-	±0
暴 行	9	9	±0	8	8	±0
傷 害	22	27	-5	24	33	-9
脅 迫	4	3	1	4	3	1
恐 喝	5	4	1	6	5	1
窃 盗	170	102	68	29	15	14
詐 欺	6	84	-78	7	14	-7
横 領	-	-	±0	-	1	-1
文 書 偽 造	1	2	-1	3	2	1
賭 博	-	1	-1	-	1	-1
わいせつ物頒布等	-	-	±0	-	-	±0
公務執行妨害	3	4	-1	2	4	-2
犯人蔵匿	-	-	±0	-	-	±0
証人威迫	-	-	±0	-	-	±0
逮捕監禁	1	-	1	3	-	3
信用毀損・ 威力業務妨害	-	-	±0	1	-	1
器物損壊等	6	5	1	2	4	-2
暴力行為等処罰 ニ関スル法律	-	-	±0	2	-	2
そ の 他	5	9	-4	1	4	-3

(3) 暴力団犯罪のうち、特別法犯の検挙状況を前年と比較すると、第37表のとおりで、検挙件数は14件(23.0%)減少した。

第37表 暴力団犯罪(特別法犯)違反法令別検挙件数・検挙人員

違反法令別	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和2年	令和元年	増減数	令和2年	令和元年	増減数
総 数	47	61	-14	26	37	-11
軽 犯 罪 法	-	1	-1	-	1	-1
D V 法	1	-	1	-	-	±0
風 営 適 正 化 法	-	3	-3	-	2	-2
児童買春・児童ポルノ禁止法	-	1	-1	-	1	-1
出 資 法	-	1	-1	-	-	±0
貸 金 業 法	-	1	-1	-	1	-1
犯罪収益移転防止法	1	3	-2	-	3	-3
銃 刀 法	4	1	3	2	1	1
麻 薬 等 取 締 法	-	1	-1	-	-	±0
大 麻 取 締 法	5	10	-5	3	3	±0
覚 醒 剤 取 締 法	33	37	-4	19	23	-4
毒 劇 物 法	2	2	±0	2	2	±0
労 働 者 派 遣 法	1	-	1	-	-	±0

5 来日外国人犯罪の状況

(1) 令和2年中における来日外国人による犯罪の検挙状況は第38表のとおりである。刑法犯、特別法
犯をあわせた総件数は258件、総人員は160人で、前年と比較すると、件数は46件(21.7%)増加
し、人員は40件(33.3%)増加した。

第38表 刑法犯包括罪種別・違反法令別来日外国人検挙状況

区 分		検挙件数				検挙人員			
		令和 2年	令和 元年	増 減		令和 2年	令和 元年	増 減	
				数	率			数	率
総	数	258	212	46	21.7	160	120	40	33.3
刑 法 犯	小 計	160	146	14	9.6	92	68	24	35.3
	凶 悪 犯	5	3	2	66.7	10	2	8	400.0
	粗 暴 犯	15	18	-3	-16.7	16	17	-1	-5.9
	窃 盗 犯	111	114	-3	-2.6	43	43	±0	-
	知 能 犯	12	3	9	300.0	10	1	9	900.0
	風 俗 犯	3	2	1	50.0	2	2	±0	-
	そ の 他	14	6	8	133.3	11	3	8	266.7
特 別 法 犯	小 計	98	66	32	48.5	68	52	16	30.8
	入 管 法	62	44	18	40.9	46	36	10	27.8
	迷惑防止条例	1	-	1	-	1	-	1	-
	風営適正化法	2	-	2	-	2	-	2	-
	児童買春・児童ポルノ禁止法	-	1	-1	-100.0	-	1	-1	-100.0
	銃 刀 法	3	-	3	-	1	-	1	-
	狩 猟 法	1	-	1	-	1	-	1	-
	麻薬等取締法	-	1	-1	-100.0	-	-	±0	-
	大麻取締法	5	3	2	66.7	2	2	±0	-
	覚醒剤取締法	22	9	13	144.4	12	7	5	71.4
	廃棄物処理法	1	-	1	-	1	-	1	-
	狂犬病予防法	1	-	1	-	1	-	1	-
	銀 行 法	-	1	-1	-100.0	-	1	-1	-100.0
	森 林 法	-	2	-2	-100.0	-	2	-2	-100.0
	不正アクセス禁止法	-	2	-2	-100.0	-	-	±0	-
	そ の 他	-	3	-3	-100.0	1	3	-2	-66.7

(2) また、過去10年間における来日外国人による刑法犯の検挙状況は、第39表、第40表のとおりで、
検挙件数、検挙人員ともに増加と減少を繰り返しており、令和2年は検挙件数、検挙人員ともに令和
元年より増加した。

また、令和2年中の刑法犯の総数に対し、来日外国人の占める割合は、検挙件数では4.5%検挙
人員では4.9%となっている。

第39表 刑法犯来日外国人の検挙件数の推移

区 分	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	令和	令和
	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2
総 数	7,191	5,471	6,048	5,395	4,865	4,557	5,717	4,964	3,829	3,591
来日外国人	262	362	295	253	314	114	150	92	146	160
構 成 比	3.6	6.6	4.9	4.7	6.5	2.5	2.6	1.9	3.8	4.5
凶 悪 犯	53	54	46	52	45	46	49	50	40	47
来日外国人	-	2	4	1	-	3	3	2	3	5
構 成 比	-	3.7	8.7	1.9	-	6.5	6.1	4.0	7.5	10.6
粗 暴 犯	304	322	343	333	347	360	371	396	393	360
来日外国人	12	10	11	11	11	6	11	16	18	15
構 成 比	3.9	3.1	3.2	3.3	3.2	1.7	3.0	4.0	4.6	4.2
窃 盗 犯	5,666	3,920	4,538	3,837	3,526	3,155	4,334	3,623	2,609	2,486
来日外国人	231	312	252	222	285	92	59	61	114	111
構 成 比	4.1	8.0	5.6	5.8	8.1	2.9	1.4	1.7	4.4	4.5
知 能 犯	452	590	593	574	486	551	440	518	432	299
来日外国人	9	9	14	6	8	7	63	1	3	12
構 成 比	2.0	1.5	2.4	1.0	1.6	1.3	14.3	0.2	0.7	4.0
風 俗 犯	77	101	72	99	79	76	54	52	59	55
来日外国人	-	1	-	2	2	1	2	1	2	3
構 成 比	-	1.0	-	2.0	2.5	1.3	3.7	1.9	3.4	5.5
そ の 他	639	484	456	500	382	369	469	325	296	344
来日外国人	10	28	14	11	8	5	12	11	6	14
構 成 比	1.6	5.8	3.1	2.2	2.1	1.4	2.6	3.4	2.0	4.1

第40表 刑法犯来日外国人の検挙人員の推移

区 分	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	令和	令和
	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2
総 数	3,066	2,898	2,448	2,447	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863
来日外国人	128	115	96	77	73	51	71	67	68	92
構 成 比	4.2	4.0	3.9	3.1	3.2	2.4	3.2	3.0	3.5	4.9
凶 悪 犯	47	57	39	54	41	37	37	35	45	51
来日外国人	-	3	5	1	-	3	3	2	2	10
構 成 比	-	5.3	12.8	1.9	-	8.1	8.1	5.7	4.4	19.6
粗 暴 犯	333	351	350	342	339	361	366	393	388	357
来日外国人	11	12	12	9	11	5	12	16	17	16
構 成 比	3.3	3.4	3.4	2.6	3.2	1.4	3.3	4.1	4.4	4.5
窃 盗 犯	1,997	1,840	1,530	1,507	1,434	1,334	1,364	1,228	1,115	1,059
来日外国人	95	82	56	49	53	36	41	39	43	43
構 成 比	4.8	4.5	3.7	3.3	3.7	2.7	3.0	3.2	3.9	4.1
知 能 犯	195	205	214	198	147	157	176	212	164	141
来日外国人	12	10	14	8	3	3	4	4	1	10
構 成 比	6.2	4.9	6.5	4.0	2.0	1.9	2.3	1.9	0.6	7.1
風 俗 犯	52	90	66	76	54	56	33	149	53	43
来日外国人	-	1	-	2	2	1	2	-	2	2
構 成 比	-	1.1	-	2.6	3.7	1.8	6.1	-	3.8	4.7
そ の 他	442	355	249	270	263	214	217	193	173	212
来日外国人	10	7	9	8	4	3	9	6	3	11
構 成 比	2.3	2.0	3.6	3.0	1.5	1.4	4.1	3.1	1.7	5.2